整理番号 K - 1 2 7 8	(NEDO310,2-1003)	分 解 度 試 験
トリアクリル酸ペンタエリトリト-	- ル (3524-68-3)	指 示 8年 5月 13日
		試験期間 10.10.22~11.3.18
		試験装置・揮・揮
構造式(示性式)・物理化学的性料	$\circ$	試 験 濃 度
0 1	$H_2$ C $-$ O $-$ C $-$ CH $=$ C $H_2$ $-$ C $-$ CH $_2$ OH $H_2$ C $-$ O $-$ C $-$ CH $=$ C $H_2$	有機物質 100 mg/L
$H_2C = C - C - C - C + C$	–Ç—CH₂OH	汚 泥 30 mg/L
I	H <sub>2</sub> COOCCOCHCCH2	本試験期間 4 週間
	Ö	間 BOD 17, 6, 12 (12)%
分子式 C14 H18 O7	分子量 298.29	接 接
組成式 C2.10 H2.69 O1.00		験 結 HPLC 95, 76, 83 (85)%
純 度* 1 10.6%	外 観 無色透明液体	開   直       接
不純物*1(物質名,含有率) テトラアクリル酸ペンタエリトリト 被験物質の二量体 トリアクリル酸ペンタエリトリトー 残り25.4%中にジアクリル酸ペンタコ 物質の三量体及び構造不明の不純物	、 ルモノカルバルデヒド 16.6% ニリトリトールモノカルバルデヒド、被験	判定部会 第242回
融 点 -50 以下	溶解度(対水 , その他 )   対水 変化のため測定不可	判 定 難分解性
沸 点 変化のため測定不可	対アセトニトリル 10 g/L 以上 対メタノール 2.1g/L 以上	備考
比 重*2 d40 1.168 L D50*3 2,460 mg/kg(oral,rat) 4,000 mg/kg(skin,rabbit)	1 - オクタノール / 水分配係数 log Pow = 1.1 (HPLC法)	1.回収率 (水 +被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%
IRチャートの有無 有・無	安定性 水中で変化する(30)。	試験液をアセトニトリルで希釈して
用 途*4 光硬化反応性希釈剤、 質剤、架橋剤	<b>塗料、接着剤、ゴム、樹脂などの改</b>	分析機器に導入。
生産量(13年)*5 製造及び輸入	100~1,000 t 未満	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構
試料 購入先 Fluka chemie	AG	
経済産業公報発表年月日	年 月 日	

## 備考

## 3.特記事項

- ・BODの算出は組成式による。
- ・入手試料は(汚泥+被験物質)系において変化し、モノアクリル酸ペンタエリトリトール(2-0248, K-68,S50.10.27(17)難分解性、S51.7.22(25)高濃縮性ではない)、及びアクリル酸(2-0984,K-32,S49.10.28(7)良分解性)を生成した。アクリル酸は分解し、被験物質、不純物のジアクリル酸ペンタエリトリトール、トリアクリル酸ペンタエリトリトールモノカルバルデヒド及び変化物のモノアクリル酸ペンタエリトリトール、ペンタエリトリトールは残留した。

## ・逆転条件(開放系)試験結果(4週間)

		分解原	芰(%)	
	1	2	3	平均
TOC	60	56	60	59
HPLC	100	100	100	100
	ペンタ	エリトリトー	ルの生成	率(%)
HPLC	32	35	39	36

(培養期間 10.10.2~10.10.30)

- \*1 HPLC及びLC-MSによる。 \*2 Fluka chemie AG添付資料による。 \*3 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。
- \*4 14705 の化学商品(化学工業日報社)による。 \*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験事業	美対象年度 平成	16年度	濃	縮度試験				:	毒 性	試	験		
試験期間 1.7	7 . 3 . 4 ~	17. 4.26	趌	<b>談期間</b>		٠	~			依	年	月	日
試験装置 標・揮 LC50	o値 mg/L( h	nr)魚種( /	討	【験装置 標	・揮 LC50	値 mg	/L( hr	)魚種(	)				
水槽設定濃度 ( )			水	〈槽設定濃度	( )					頼			
14504655	分 昔	故 剤 /			14 EA 44 EE		分散	剤		経i			
被験物質					被験物質					#主儿	<u>6</u>		
第1濃度区			穿	月1濃度区									
第2濃度区			角	第2濃度区									
第3濃度区			穿	第3濃度区									
濃縮倍率 脂質含		% % 魚種( )	濃	縮倍率	脂質含	大型 開始前 有率 終了後	j %	魚種	i( )				
日		70	ź		日後		日後	<u>.</u> 日後					
(第一) 水槽濃度( )			第	水槽濃度 (	)								
第			1	倍 2	率 ———								
水槽濃度()			**	水槽濃度 (	)								
第 倍 率			一第 2	倍	<b>率</b>								
水槽濃度()				水槽濃度(									
第 /			第	,	)								
3 倍 率			3	倍 2	<b>卒</b>								
審査部会 第 4 7 回	17年 9月	3 0 日 開催	審	<b>音部会</b> 第	第 回	年	月	日	開催				
判定結果			判.	定結果									
備考			備	十 考									
分配係数から類推 (被験物質のlog Powla エリトリトールは被 タエリトリトールは	段験物質より極性が に高濃縮性でない判別	高い。ペン 定済み。 )											
[実施機関]財団法人 化	子初員評Ш伽九機條	<b>事</b>											

整理番号 K-1379 (N	NEDO307,2-0147)		5	· 解	度	試	験				分(	解 原	吏 討				5	) 解	度	試	験
N - メチル - N, N - ビス(2 - ジメチル	アミノエチル)アミン	指	示		11 年	4 )	月:	30 日	指	示		年	Ξ.	月 日	指	i	示		年	月	日
(3030-47-5)		試験	期間	1	12. 4	.11 ~	12.	6.12	試馬	験期間	]			~	試	験.	期間			. ~	
		試験	装置		槎	·	揮		試馬	験装置	i		標	· 揮	試	験	装置		標	<b>.</b>	揮
構造式(示性式)・物理化学的性状			試	馬	戾	濃	度			Ì	式	験	濃	度			試	馬	<b></b>	濃	度
			被	験物質	質	100 r	ng/L			Ŕ	皮験物	質		mg/L			被	験物質	Į	n	ng/L
H <sub>3</sub> C,	,CH₃		汚	·	尼	30 r	ng/L			ř	5	泥		mg/L			汚	ij	昆	n	ng/L
H <sub>3</sub> C NCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> NCH H <sub>3</sub> C CH <sub>3</sub>	<sub>2</sub> CH <sub>2</sub> N	本訂	式験其	期間		4	. 退	間	本	試験	期間			週間	本	討	<b>t験其</b>	間			週間
H <sub>3</sub> C CH <sub>3</sub>	CH <sub>3</sub>		間	BOD	0,	0,	0	(0)%		間						ı	間				
		弘	接						訊						試	b	接				
		験結		TOC	0,	0,	1	(0)%	験結						<b>験</b>	-					
分子式 C 9 H 23 N 3	分子量 173.30	果	直接	G C	0,	1,	1	(1)%	果	直接					果	į   ·	直 - 接 -				
純 度 <sup>* 1</sup> 99.5% 外	観 微黄色透明液体		1女 -							13						]	1女 —				
不純物*1 (物質名,含有率) 溶制 水分 0.14%	解度(対水,その他)	判定	官部名	<u></u>	第	2 5 5	回		判	定部	슷	ŝ	第		判	定	部名	<u> </u>	第		回
Thun a coo/ In a L ) 一 ( X ) / /	K 100 g/L 以上 I-オクタノール 4 g/L 以上(25 )		1	2年	7月	26	日開	催			年		月	日開催				年	月	l E	日開催
融 点* <sup>2</sup> -20		判	定		難分戶	解性			判	定					判	J	定				
沸 点*2 198 1 -	· オクタノール/水分配係数 log Pow = 0.04 (pH12)	備	考						備	考					備	Ė	考				
密 度*1 0.828 g/cm³(20 )	(フラスコ振とう法)	1. 🖸	回収率	壑																	
L D 50 * 2 1,630 mg/kg(oral, rat) 解离 280 mg/kg(skin, rabbit)	t定数 <sup>*3</sup> pKa1 = 9.35			+ 被験 + 被験			100 100														
IRチャートの有無 有・無	pKa2 = 8.12 pKa3 = 2.73	1		を直		-															
用 途*4 ポリウレタン重合用触媒、医	農薬中間体、各種合成触媒	2.箕	官施村	<b>型</b>																	
生産量(13年)*5 製造及び輸入 100	~1,000 t 未満				七学物	質評	価研?	究機構													
試 料 購入先 和光純薬工業 和光	七一級	3.特																			
経済産業公報発表年月日	年 月 日	・開	抛出	非に pH	調整を	を行っ	た。														

<sup>\*1</sup> 和光純薬工業添付資料による。 \*2 The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。
\*3 G. Gelbard and P. Rumpf, Bull. Soc. Chim. France 1969, 2120による。 \*4 14705の化学商品(化学工業日報社)による。
\*5 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験事業	対象年度 平成	1 6 年度	濃縮度試験								毒性	生 試	; 験
試験期間 17	. 3. 2 ~ 1	17. 4.12	試験期間			~				依	年	月	日
試験装置 標・揮 LC50	值 mg/L( hi	r)魚種(	試験装置 標	票・揮 LC <b>50</b> ⋅	值 mg.	/L( hr) f	1種(	)					
水槽設定濃度 ( )			水槽設定濃度	£ ( )						頼			
74 EV 174 EE	分散	,削		3-1-FA 4-1-FF		分散	剤			経	: 丹		
被験物質				被験物質						京主.			
第1濃度区			第1濃度区										
第2濃度区			第2濃度区										
第3濃度区			第3濃度区										
濃縮倍率 脂質含	開始前 % 有率終了後 %	6 6 魚種( )	濃縮倍率	脂質含	有率 開始前	% %	魚種(	)					
日往		日後日後		日後		日後		日後					
第一水槽濃度()			水槽濃度 ( 第	)									
第 倍 率				率 ———									
水槽濃度(			水槽濃度(	)									
第 倍 率			第 倍 3	率 ———					r C				
水塘漕度())			水槽濃度(	)									
第一			第一	,									
3 倍 率			3 倍 2	率					1				
審査部会 第 4 7 回	17年 9月 3	3 0 日 開催	審査部会	第 回	年	月	日 開催						
判定結果			判定結果										
備考			備考										
삵	配係数から類推												
731	10   小女女人 1、20 大人 1 仕												
[実施機関]財団法人 化等	学物質評価研究機構												

整理番号 K - 1 4 5 0	(NEDO309,3-0399)			 } 解		試り	 験			分 解	異 度	試	 験			分	解	度	 式 験
2,3-ジメチルニトロベンゼン		指	示	1	1 年	4 月	30 日	指	示		年	—— 月	日	指	- 7	<u></u>		<del>——</del>	月 日
(83-41-0)		試験	期間	12	2.11.	2 ~ 1	3. 2.26	試馬	験期間			. ~		試調	験期				~
		試験	装置		標	) .	 揮	試馬	験装置	i I	標		 揮	試調	験装	置		標	<u> </u>
構造式(示性式)・物理化学的性状			試	験	· ;	濃			i	式	 験	濃				試	験	 濃	
ŅC	)2		被	験物質	<u> </u>	100 mg	g/L		衤	皮験物	 質		mg/L			被験	物質		mg/L
	CH <sub>3</sub>		汚	泥	ļ	30 mg	a/L		ř	5	泥		mg/L			汚	泥		mg/L
		本訪	 式験其				<u>週間</u>	本		期間			<del></del> 週間	本		<u>* 3</u> 験期間			 週間
	CH <sub>3</sub>		間	BOD	0,	0,	0 (0)%		間						間	1			
	· ·	試							接					試	+==				
		験		HPLC	0.	0.	0 (0)%	験						験					
	分子量 151.16	結果	直				(0)10	結果	直					結果					
			接 -					<b>.</b>	接-						接				
	溶解度(対水,その他)	安2			<b>学</b>	2	<u></u>	卖	 査部	<u></u>	 第			安	本章	」 部会		第	
水分 0.01%	対水 180 mg/L(25 )	田上		* 3年				ш.	묘마	年			日開催	<b>H</b>	ᄪ		年	月	日開催
残り 0.19%は不明 融 点 <sup>*2</sup> 7~9	対アセトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1 g/L 以上	坐山	 定		維分解			坐山	 定			,		坐山	7			,,	
	1 - オクタノール / 水分配係数		考		TE / J / DT	- 1-			考						· ā				
密 度* <sup>1</sup> 1.141 g/cm³(20 )	log Pow = 2.85 (フラスコ振とう法)																		
	(フラスコ派とラ伝)    解離定数	4	3収3 水 -	☑ - 被験\$	勿質)	系	100%												
L DS0	解離基なし	( 7.	5泥 -	- 被験物	勿質)	系	100%												
		訪	式験沼	を直持	妾分析	機器	に導入。												
用途			€施榜 ·田:+		<del>└</del> ┤∦∕m F:F	÷π/≖·	7.17.07.1/数.1#												
生産量(年)		・財	凹法	人 1七 <sup>-</sup>	子初貨	₹1四′	研究機構												
試料 購入先 和光純薬工業																			
経済産業公報発表年月日	年 月 日																		

<sup>\*1</sup> 和光純薬工業添付資料による。 \*2 Sigma-Aldrich Material Safety Data Sheets(11/1998-1/1999)による。

濃縮度試験事業	対象年度 平成	16年度	濃縮度試験						:	毒 性	:試	験
試験期間 17	. 2.18 ~	17.3.4	試験期間			~			依	年	月	日
試験装置 標・揮 LC50	値 mg/L( h	r)魚種( /	試験装置 標	票・揮 LC <b>50</b> ⋅	値 mg.	/L( hr) f	魚種(	)				
水槽設定濃度 ( )			水槽設定濃度	£ ( )					頼			
14 EA 44 EE	分 散	対 剤 /		3-1-FA 4-1-FF		分散	剤		経ì	<b>丹</b>		
被験物質				被験物質					※主人	<u> </u>		
第1濃度区			第1濃度区									
第2濃度区			第2濃度区									
第3濃度区			第3濃度区									
濃縮倍率 脂質含	開始前 9 有率終了後 9	% % 魚種( )	濃縮倍率	脂質含	開始前 有率 終了後	% %	魚種(	)				
日往				日後		日後	日後	日後				
第一水槽濃()			水槽濃 (   第	)								
第 倍 率			1 倍 2	率 ———								
水槽濃度(			水槽濃度(	)								
第 倍 率			第 倍 2	率 ———								
水槽濃度()			水槽濃度(	)								
第 倍 率			第一	率 ———								
				<del>-</del>								
審査部会 第 4 7 回	17年 9月	30日 開催	審査部会	第回	年	月	日 開催	É				
判定結果			判定結果									
備考			備考									
分	配係数から類推											
731												
[実施機関]財団法人 化	学物質評価研究機構	<b>5</b>										

整理番号 K-1481 (NEDO302,3-1783)		分解度試験
テトラクロロフタロジニトリル	指示 11年 4月 30日 指示 年 月	日 指示 年 月 日
[テトラクロロフタロニトリルにて試験実施]	試験期間 12.3.21~12.5.15 試験期間 ~	試験期間 ~
( 1953-99-7 )	試験装置 標 ・ 揮 試験装置 標 ・	揮 試験装置 標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状	試 験 濃 度 試 験 濃	度 試 験 濃 度
	被験物質 100 mg/L 被験物質 mg	/L 被験物質 mg/L
CI	汚 泥 30 mg/L 汚 泥 mg	//L 汚 泥 mg/L
CICN	本試験期間 4 週間 本試験期間	週間 本試験期間 週間
CICN	間 BOD 2, 0, 0 (1)% 間	間
CI CIN	接 話	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
OI .	験 4± HPLC 0, 0, 0 (0)% 数 4±	<b>験</b> 结
分子式 C8 C14 N2 分子量 2 6 5 . 9 1	果直果接接接接	
純 度 <sup>* 1</sup> 98% 外 観 白色粉末	1X 1X	1x
不純物(物質名,含有率) 溶解度(対水,その他) 対水 10 mg/L 以下	判定部会 第254回 判定部会 第 回	回 判定部会 第 回
残り 2%に づいては不明   対酢酸エチル 10 g/L 以上	12年 6月21日開催 年 月 日	開催 年 月 日開催
融 点*2       249~252 (分解)       対7セトニトリル 10 g/L 以上 対1-オクタノール 1000 mg/L 以上	判 定 難分解性 判 定	判定
沸 点       1 - オクタノール / 水分配係数         log Pow = 3.00	備考	備考
密度 1.741 g/cm³(25 ) (フラスコ振とう法)	1.回収率 (水+被験物質)系 101%	
L Dso*2 13,720 mg/kg(oral,mouse) 解離定数 解離基なし	(汚泥+被験物質)系 99.5%	
I R チャートの有無 有 ・ 無	2.実施機関 ・財団法人 化学物質評価研究機構	
用途		
生産量(年)		
試料 購入先 Aldrich Chemical		
経済産業公報発表年月日 年 月 日	prory of Pogulatory and Safaty Data IT LZ	

<sup>\*1</sup> Aldrich Chemical添付資料による。 \*2 The Sigma-Aldrich Library

<sup>\*2</sup> The Sigma-Aldrich Library of Regulatory and Safety Dataによる。

濃縮度試験事業	対象年度 平成 1	6 年度	濃縮度試験		毒性試験				
試験期間 16	.10.21 ~ 1	6.11. 9	試験期間			~			年月日
試験装置 標・揮 LC50	值 mg/L( hr	)魚種(	試験装置 標	票・揮 LC <b>50</b> ⋅	値 mg.	/L( hr) f	1種(	)	
水槽設定濃度 ( )			水槽設定濃度	£ ( )					頼
34 EA 1/2 EE	分 散	剤		3-1-FA 4-1-FF		分散	剤		
被験物質				被験物質					光生
第1濃度区			第1濃度区						
第2濃度区			第2濃度区						
第3濃度区			第3濃度区						
濃縮倍率 脂質含	有率 終了後 %	魚種( )	濃縮倍率	脂質含	有率 開始前	% %	魚種(	)	
日往		日後日後		日後		日後	日後	3後	
第一水槽濃()			水槽濃 (   第	)					
第 倍 率			1 倍 2	率 ———					
水槽濃度(			水槽濃度(	)					
第 倍 率			第 倍 2	率 ———					
水構濃度()			水槽濃度(	)					
第 倍 率 ———			第	率 ———					
			1 14	<del>-</del>					
審査部会 第 4 7 回	17年 9月 3	3 0 日 開催	審査部会	第回	年	月	日 開催		
判定結果			判定結果						
備考			備考						
分	配係数から類推								
[実施機関]財団法人 化等	学物質評価研究機構								

整理番号 K-1597 (NEDO126,5-1060)	分 解 度 試 験	分 解 度 試 験	分 解 度 試 験
トリス(2 - ヒドロキシエチル)イソシアヌル酸アクリル酸エステル	契約 13年 4月 6日	契 約 年 月 日	契 約 年 月 日
(40220-08-4)	試験期間 13.10.19~14. 3.20	試験期間 ~	試験期間 ~
	試験装置標・揮	試験装置 標・ 揮	試験装置標・揮
構造式(示性式)・物理化学的性状	試 験 濃 度	試 験 濃 度	試 験 濃 度
o o	有機物質 100 mg/L	被験物質 mg/L	被験物質 mg/L
CH <sub>2</sub> =HCOCOH <sub>2</sub> C-CH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> -CH <sub>2</sub> OCOCH=CH <sub>2</sub>	汚 泥 30 mg/L	汚 泥 mg/L	汚 泥 mg/L
O NO	本試験期間 4 週間	本試験期間 週間	本試験期間     週間
CH <sub>2</sub> —CH <sub>2</sub> OCOCH=CH <sub>2</sub>	間 BOD 24, 0, 12 (12)%	間	間
	接 接	· 」	接 試
分子式 C <sub>18</sub> H <sub>21</sub> N <sub>3</sub> O <sub>9</sub> 分子量 4 2 3 . 3 7	験 結 TOC 44, 16, 49 (36)%		験 結 **
組成式 С5.84 Н7.09NО3.05(元素分析による)	期 直 HPLC 100, 53,100 (84)9	一品 且	東   直
純 度 <sup>* 1</sup> 79.7% 外 観 白色固体	192	13	192
不純物*1(物質名,含有率) 溶解度(対水,その他) 分子量 369 が 11.1% 溶解度(対水,その他)	審査部会 第 1 4 回	審査部会 第 回	審査部会 第 回
	14年 5月29日開催	年 月 日開催	年 月 日開催
融点* <sup>2</sup> 96~98 (25 )	判 定 難分解性	判定	判定
沸 点       測定不可       1 - オクタノール / 水分配係数         log Pow = 1.9	備考		備考
密 度 1.309 g/cm³(25 ) (HPLC 法)	1.回収率 (水 +被験物質)系 100%	・被験物質は試験液中で変化し、 被験物質より極性が高いトリス	
L Dso 解離定数	(汚泥+被験物質)系 100 %	(2-ヒドロキシエチル)イソシア ヌル酸(86,27 及び 106%生成)、	
I R チャートの有無 有 ・ 無	2.実施機関	トリス(2-ヒドロキシエチル)イ	
用途	・株式会社 三菱化学安全科学研究F -	ステル(13,7 及び 0%生成)及び	
生産量(年)	3.特記事項 ・TOD の算出は組成式で行った。	トリス(2-ヒドロキシエチル)イ ソシアヌル酸ジアクリル酸エス	
試料 購入先 Aldrich Chemical		テル(0,32 及び 0%生成)が残留 した。	
経済産業公報発表年月日 年 月 日		5.C <sub>0</sub>	

<sup>\*1</sup> HPLCによる。 \*2 Aldrich Chemical MSDSによる。

濃縮度試験	事業対象年度	平成 1 6 年	度	濃	縮度試験	契約			年	月	日		毒!	性 試	,験
試験期間	16.12. (	6 ~ 17.	1. 6	試	験期間				~			依	白	F 月	日
試験装置 標・揮	LC <b>50</b> 値 m	g/L( hr)魚和	<b>(</b> /	試	験装置	標・揮	LC <b>50</b>	値 mç	/L( hı	·)魚種(	)		İ		
水槽設定濃度 (	)			水	槽設定濃	度 (	)					頼	İ		
115111		分 散 剤					TA 11-55		分散	八剤		経	2風		
被験物						被	験物質					#主	旭		
第1濃度区				第	1 濃度区										
第2濃度区				第	2 濃度区										
第3濃度区		1		第	3 濃度区										
濃縮倍率 脂	開始前 質含有率 終了後	·	· (種( )	濃	縮倍率	1	脂質含	有率 開始前	j (	% % 魚種	i( )				
	日後日後		日後 日後	_			日後		日後	70					
水槽濃度( )				第	水槽濃度(	)									
第 倍 率 —				<del>ж</del> 1	倍	率									
水槽濃度()					水槽濃度(	)									
第				第 2	倍	率									
第 水槽震度( )				第	水槽濃度(	)		1							
3 倍 率 —				3	倍	率									
審査部会 第 4 7	回 17年	9月 30日	日 開催	審	査部会	第		年	月	日	開催				
判定結果				判	定結果										
備考				備	考										
分解度試験変化物は おいて本体より極性															
のいて本体より極い	Eが同いため、4	一件リノカ 自己が致	(ハ・ロ光江田												
  「実施機関]財団法人	化学物質評価。	研究機構													